



本校
ホームページ
QRコード

気持ちきりかえていきましょう！

ゴールデンウィークの期間も過ぎ、日常の学校生活がもどってきました。



以前に担任していた時に生徒が、『休日の一日はアツという間に過ぎるけど、平日の一日は長く感じるな〜』と日記に時々書いていたことを思い出しました。同じように感じている人もいないのでしょうか。

新年度がスタートして一ヶ月がたち、連休があり、多くの人が学校・学年・学級での生活に慣れてきたころだと思います。この慣れは、決して悪いことではありません。逆に、長期間緊張状態が続いてしまうほうが心や体への負担になるでしょう。

慣れることで、心（気持ち）に余裕ができます。心に余裕があれば、周りの様子にも気づくことができ、落ち着いて物事に取り組めるなど、よい部分がたくさんあります。

一方で慣れは、時に『緊張感』を弱め、「がんばって勉強しよう！」「与えられた仕事をがんばっていこう！」「気をつけて自転車を運転しよう！」など、自分自身を高めていこうとしていたプラスの意欲や注意力を低下させてしまう心配もあります。

ゴールデンウィーク後の今、『自分にとってプラスにつながる慣れになっているかな？』『自分にとってマイナスとなる慣れかな？』と、自分自身の気持ちと向き合ってみてはどうでしょうか。もちろん、『まだ（少し）緊張しながら生活しています。』と感じている人もいないでしょう。人それぞれです。自分のペースで、自分にとってプラスになるような慣れにしていけばいいのですから…。

ところで、このゴールデンウィーク期間中、自分自身を高めたり、充実感・達成感を味わったりした取り組みはできたでしょうか。「◆◆へ行った！」という思い出もいいですが、「家の手伝いをがんばった！」「自分でたてた計画通りに生活することができた！」など、自分なりに達成感を味わうことも大切なことです。よければ、スクールライフノートで担任へ伝えてみてください。

気持ちをきりかえ、いいスタートをきっていきましょう。

自転車は安全に乗れていますか？

『登下校中の自転車通学のように』について、地域の方々から学校へ連絡をいただくことがあります。連絡内容の多くが『中学生の自転車の乗り方が非常に危険』というものです。例えば…、

- 道いっぱいに広がって通行している
 - 登校中の小学生と接触しそうになった
 - スピードを落とさず、また一旦停止をせずに交差点に進入する
- などといった内容です。



もしかしたら、これらの姿にも『慣れ』が影響しているのかもしれない。

乗り方によっては、交通事故につながる可能性があります。それは、被害者としてだけでなく、加害者としての立場になることも考えられます。

安全への意識をもって運転していれば、事故は十分に防ぐことができますし、加害者の立場になることは避けられると思います。

ご家庭におかれましても、登下校や休日等の交通安全の留意点についてお話ししていただきますようお願いいたします。（放課後等も自転車乗車時にはヘルメットの着用を。）

最下部の標語は、自転車の安全な乗り方への意識を高めたいという思いから、今後も学校だよりにできるだけ掲載するようにしていきます。



家庭訪問ありがとうございました

4月30日（火）から4日間の日程で実施しました家庭訪問につきまして、ご対応いただきました保護者の皆さんには、大変お忙しいなかありがとうございました。

自転車通学「安全確認」



- ・自転車は1列で走行します！ 2列3列で並走しません！！
- ・人や車の近く、曲がり角ではスピードを落とし、「止まれ」の交差点では一旦停止します！
- ・通学以外での自転車利用時にもヘルメットを着用しましょう！